



学校だより ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>

令和 2年 5月 1日
横浜市立釜利谷南小学校

5月号

校長 田中 さくら

皐月

暦の上では大型連休ですが、今年はとてもゴールデンウィークとは言えない状況です。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、緊急事態宣言が継続する中での5月を迎えました。長いステイホームウィークが続いていますね。ご家庭でも通常とは違う生活に対応し、不安や心配に精神的な疲労がたまっていることと思います。日々お疲れ様です。そして子どもたちもよく我慢してくれています。

学校も入学式と始業式だけを終えて、新年度がスタートしましたが、休業は続き、静まりかえった校舎は子どもたちの元気な声が聞こえずさびしそうです。職員室でさえも3つの密を避けるため、出勤職員7割減で在宅勤務を始めております。緊急受け入れの子どもたちも状況を理解してか、かわいそうなくらい静かに時を過ごしています。子どもたちで賑やかな校舎、子どもたちの笑い声にあふれた教室や体育館、校庭の毎日が、給食や清掃、休み時間などの当たり前の生活が、いかに幸せな日々だったか、教職員一同改めて実感して、なつかしく思っています。昨年度の学校だより5月号では、学校で咲き誇っている春の花のことやスポーツフェスタの練習が始まることなどをお伝えしました。釜利谷南小学校の特徴で自慢とも言えるたてわり活動や入学した1年生を迎える会がいつできるのか、6月予定の全校遠足は実施できるのか、見通しのもてない日々に、教職員も行事計画の変更のための検討を繰り返しながら、未だ会えない子どもたちに、どうすれば気持ちが伝わるのか日々考えています。

先月号でお知らせした通り、春のスポーツフェスタは、できる限り時間短縮でプログラムを削ったり、無観客での演技や競技にしたりせず、一人一人の子どもたちが練習の成果を発揮して輝けるよう、秋の11月28日(土)に延期といたしました。どうぞご承知おきください。

お知らせ

新年度の委員会活動も、所属を決めていないのでスタートできていませんが、飼育委員会の児童がよく世話をしてくれていた飼育小屋のウサギたち3羽のラテ、カプチーノ、シュガーは、とても元気です。小屋から出すと、ウサギ専用の庭で、飛び跳ねながら走り回り、なかなか小屋には戻らず、咲いている野の花、ナズナ、ヒメオドリコソウ、カラスノエンドウなどの葉っぱをむしゃむしゃ食べ始めます。ウサギたちも早く子どもたちに会いたがっているようです。

花もきれいに咲いています。



【校庭のツツジと藤棚のフジ】



【ウサギ小屋から】

もう一つのお知らせは、教職員からのメッセージです。家庭訪問も接触を避けるためなかなかできない状況が続いていますので、電話で保護者の方々とお話しして、体調やご家庭での様子をお聞きしています。新しい担任もお会いする前にいきなりお電話で失礼とは思いましたが、どなたも快くお話をしてくださり、とてもありがたいです。また、校庭開放に遊びに来る子どもたちとは会うこともできますが、全員ではないので、「会えなくても心は一つ、共にこの難局を乗り越えよう」という気持ちを込め、校舎の1階窓にメッセージを掲示しました。また、この学校だよりも次のページに載せてあります。みなさんご覧ください。